

## ちくたく

クローバーが茂る  
こども園を夢見て

岡南認定こども園 園長  
藤原幸恵

「フレーフレーむらさき!」「フレーフレーふじ!」たくましい応援団長が、

むらさき組対ふじ組の綱引きを毎年盛り上げます。運動会で小中学校の校長先生が揃って園児の競技に加わり、また、年長児の発表会の幕間に小学校の校長先生が園と学校の連続性について語る、岡南認定こども園。この、岡輝学区ならではの学校園連携に支えられて、子どもたちはのびのびと成長しています。

岡南幼稚園と岡南保育園が一つになり岡南認定こども園が誕生して、3年が過ぎようとしています。幼稚園でもあり保育園でもあるこども園。0歳から就学前の子どもたちが一緒に日々を積み重ねて大きくなっていくこども園。

一昨年の秋、園庭の隅にクローバーの種をまきました。「小さいクラスの子どもも自然に触れて遊びたいけど、園内にはその場所がない」という職員の声から思いついたことです。すぐに芽が出て喜んだものの、なかなか大きくなりません。1年が過ぎ諦めかけていたこの冬、小さかったクローバーは、いつの間にかしっかり根を張り、緑鮮やかに葉を茂らせ始め、たのです。待っていてよかったと思いました。白い花が咲く春がとても楽しみです。

私事ですが、岡南保育園の保育士として5年、こども園の園長として2年、岡輝学区で大変お世話になりました。ありがとうございました。

「フレーフレー岡輝学区!」「フレーフレー岡南!」皆様の今後ますますのご健勝ご活躍を、心から応援させていただきます。



## 学校園運営に参画してみませんか

文責 門田 正充



学校運営協議会主催行事「第12回つながれ岡輝」

## 募集

岡輝中学校区の学校園は、全国に先がけ、平成14年度～16年度に文部科学省から「コミュニティ・スクールに関する法案づくりのための実践研究」の指定を受けました。その後、「コミュニティ・スクールを全国に広めるための推進事業の指定（平成17・18・20年度）」、「岡山市地域協働学校1号（現在14年目）」

の指定を受け、コミュニティ・スクールの推進に向けて中心的役割を果たしてきました。

現在、岡輝中学校区の「コミュニティ・スクール」「シニアスクール」「協同学習」などの活動は、県内はもとより全国的にも注目を集め、多くの視察を受けるようになっています。こうした中、取り組みの継続のため、いろいろなご意見やご提言をしていただける地域からの人材が求められています。この度、平成31年度の組織作りのために、地域から学校運営に参画していただける方の公募を行います。

## 応募資格

地域住民の皆様からの募集なので、岡輝中学校区に居住されておられる方ならどなたでも応募することができます。下記の応募要項により、ご応募ください。なお、岡南認定こども園、清輝小学校、岡南小学校、岡輝中学校からは、PTAより代表を1名選出させていただきますが、地域住民として応募していただくこともできます。

## 応募要項

- ① 応募書類
  - ア) 氏名・年齢・生年月日・現住所・電話番号・職歴（過去の地域活動やPTA活動の経歴）などを記述したもの（様式不問）
  - イ) 作文「私の思い」（応募の動機を400字詰め原稿用紙1～2枚程度にまとめたもの）
- ② 提出先 〒700-0867 岡山市北区岡町12-17  
岡輝中学校内「岡輝中学校区学校運営協議会」宛
- ③ 締め切り日 平成31年4月30日（火）
- ④ 問い合わせ先 岡輝中学校 校長 門田 正充  
TEL. (086) 224-0358

## 応募後の動き

応募された方は、岡輝中学校区学校運営協議会（以下、運営協議会という）の地域部会において協議の上、推薦されると運営協議会の委員として選出されます。選出された方は、運営協議会の地域部会に所属し、2019年6月に開催される新委員による運営協議会から参加していただきます。

## ◆創造する力・つながる力

岡輝中学校 教頭 本郷昭治

私が中学生の頃は、何かを調べるとき、大人から話を聞いたり、本屋や図書館に行き、書籍を手にとったものです。ところが今日では、インターネットを利用すると、地球の裏側の情報でさえも一瞬で入手できたり、SNSやネットショッピングを利用して、便利に生活できるようになっています。ところで、このインターネットはいつ頃から普及し始めたのでしょうか。その歴史はまだ浅く、普及率が6割を超えたのはほんの15年ほど前のことだそうです。

そう考えると、これまで以上に加速度的に発展している現代社会では、「情報化」「人工知能(AI)化」の波は想像以上に早く押し寄せてきます。いたるところで、意識せずとも人工知能と一緒に生活する時代もそう遠くはないと思います。そうなれば、便利なことも増えていますが、その反面、人とのふれあいの機会が減り、人情味が稀薄な世の中になったり、多くの職業を人工知能に奪われてしまうなどの不安要素も生まれてくるのではないのでしょうか。このような過去にも経験のないこれからの社会の中でたくましく生きていくためには、『創造する力』と『つながる力』が大切になってくると思います。

『創造する力』とは、ゼロ(無)から何かを生み出す力のことです。これを鍛えるために必要なことのひとつが、自ら学び問題(課題)を解決していく力を身につけていくことです。岡輝中学校区では、学校園の連携のもとに協同学習を取り入れています。単に、知識を詰め込む

学習ではなく、課題解決のために、「聴く・伝える・つながる」をベースにした学び合いでこの力を培っています。家庭・地域においても、子どもたちの取組や問いかけに対して、時には即答しないで、しっかり考えて答えを導き出す機会をつくってあげてはどうでしょうか。これが「学びとのつながり」です。

次に『つながる力』とは、「仲間」「地域」「学び」、そして「未来」とつながる力のことです。「仲間・地域とのつながり」の基本は、お互いが毎日交わすあいさつやコミュニケーションを大切にしたり、老若男女問わず、地域や学校園の行事等に積極的に参加し、喜びや成功体験を共有したり、互いに支え合うことです。そして、その積み重ねの先には、地域を誇りに思い、地域に貢献できる子どもたちの成長があるはずです。

先日、『潜在脳力(造語)』を研究されている方の講演を聴く機会がありました。その中で最も印象に残ったことは、「脳はイメージを最優先する」ということです。何かを成し遂げようと努力しているとき、不安に思うことや自信の無さはマイナスに働きますが、目標達成のいいイメージだけを持ち続けて努力すれば、大きな力が湧いてくるそうです。また、人は褒められれば自信をもつことができ、内に秘めた大いなる能力やエネルギーを発揮することもできるそうです。

地域の方々がわが子、わが孫だけでなく、地域の子どもたちに対しても事あるごとにしっかりと褒めることにより、将来に目標をもち、心身ともに自立できる子どもたちを育成していくことができるのではないのでしょうか。これが、岡輝中学校区の「未来とのつながり」です。

## ◆見えないものを大切に

清輝小学校 教頭 奥山裕史

学級担任をしていた頃、クラスの子どもたちによくこんな話をしていました。

先生は、子どもの頃からスポーツが大好きでした。だから「宝物は何ですか?」と尋ねられたら、「誕生日に買ってもらったグローブです。」と答えていました。みなさんも「宝物はゲームです。」などと答える人は多いと思います。でも先生は「本当に大切なものはグローブやゲームのように目に見えるものではなくて、目に見えないものの中にこそ、本当に大切なものがある」と思っています。誕生日にもらったグローブは、目の前にあるグローブそのものも大切なものだけど、「このグローブをもらった、きっと喜ぶだろう」「このグローブで思いっきり野球をして欲しい」というグローブに込められた親の思いや願いこそ一番大切なものだと思います。

友達が転んだとき「痛かっただろうな、大丈夫かな」と相手を思いやる気持ち、クラスの仲間と共に力を合わせて何かを成し遂げた達成感、人と人との絆…。これらも形があって目に見えるものではないけれど、

とても大切なものばかりです。人間として魅力ある人というのは、いい服を着て、いい物をたくさんもっているような人ではなく、思いやりがある、気配りができる、たくさんの人とつながっている、何かをやり遂げた達成感をたくさん味わっているといった目に見えない宝物をたくさんもっている人だと思います。そういう人を「心が豊かな人」というのです。

今年清輝小学校に赴任してきて、改めて目に見えないものの大切さとありがたさを実感しています。ここには、目に見えないけれど本当に温かい地域とのつながりがあります。毎日、朝夕学校を掃除してくださる方がいます。子どもたちのことを思って、パトロールをしたり、校門で挨拶をしてくれたりする方々がいます。行事の度に、学校に駆けつけて応援してくださる方々もたくさんいます。まだまだ他にも数え上げたらきりが無いほど本当にたくさんの人たちが、見えないところで子どもたちを支え、応援してくださっています。そんなたくさん宝物に囲まれて、子どもたちはすくすくと真っ直ぐに育っています。

「心が豊かな人間に成長して欲しい」という保護者、地域の方々の思いをしっかりと受け止めて、子どもたちとともに一步一步前に進んでいきたいと思っています。

## ◆人との「つながり」を大切に

岡南小学校 教頭 橋本直敏

岡南小学校に赴任して、3年がたとうとしています。岡輝学区に来て、すぐに感じたのは、中学校区の園や学校、地域の方との結びつきの強さでした。始業式前の春休み中には岡輝中学校区に赴任した先生を対象に初任者研修があり、岡輝学区の歩み、特にコミュニティスクールや協同学習がなぜ始まったかについて教えていただきました。地域による主体的な学校への参画、教え込みから学び合いへの授業改革の推進といった今を先取りする取組が行われていたことには大変驚きました。年度初めの準備に忙しい春休みにあえてこのような研修を行うことは、中学校区で団結し、同じ歩調で歩もうという意識の表れであり、私もこの岡輝学区でしっかりつながりながら仕事をしたいと強く感じました。

さて、つながりといえば、この岡輝中学校区で10年以上も続いている協同学習はまさにつながりを大切にした学習です。教師の一方的な教え込みではなく、ペアやグループで子ども同士が聴き合い学び合いながら、そして、教師が子どもの考えをつなぎながら学習を進めていきます。協同学習は「子どもの分からない」を大切にしています。だ

から、安心して授業に臨むことができ、「分からない」をみんなで共有し解決していくことで、子ども達はさらにつながり、より深く学んでいきます。

また、岡南小学校の宝「ピオトープ」は、造成当時から地域の方がずっと関わりをもち、現在毎月1回のペースで整備作業をしてくださっています。高齢の方も多く、重労働にもかかわらず、子ども達がここで自然や生物とふれあったり学んだりするためのよりよい環境を整えてくださっています。田植えや稲刈りなどではピオトープ委員会の児童もやり方を教えてもらいながら一緒に活動します。ピオトープは地域のみなさん同士が、そして地域と子どもとがつながる場所にもなっているのです。

紙面の関係で書き切れませんが、このように岡輝学区はたくさんの人がつながり、子ども達自身も日々つながることの喜びや楽しさを感じることのできる学区です。私自身もこの3年間でたくさんの方とのつながりができ、支えられて今日まで来ました。その一つ一つが、かけがえのない大切なつながりです。

さあ、岡輝学区に関わるすべての人が、「もっともっと、つながれ岡輝!」

## OGからの伝言… やってみよう!

私は中学校の部活動見学で初めて柔道を見て、「やってみよう!」と思い入部しました。しかし、私は運動が得意でも好きでもありませんでした。しかも当時の柔道部は男子だけでした。それでも私を先生や仲間が受け入れてくれ、一緒に稽古できたことに今でも感謝しています。厳しい稽古もありましたが、「柔道が好き」というだけで今まで続けることができました。今振り返ると、好きな柔道を一生懸命続けてきたことで、いつの間にか私の人生の道ができていました。中学時代には、「もっと柔道がしたい!」という思いから柔道の強い高校を選択し、そのために勉強をして進学しました。高校でたくさんの仲間に出会い、共に稽古を頑張りました。そして「まだまだ柔道を続け

たい!」と思い、体育大学に進学しました。柔道を通して、相手がいるから稽古ができる喜びや切磋琢磨していくことで強くなること等多くのことを実感しました。柔道を通して学んできたことを伝えたいという思いから、「岡山県教員採用試験」に何回も挑戦し、やっと合格しました。現在は教師として働いています。

私は柔道以外の運動は得意ではありませんが、体を動かすことは好きになりました。「やってみよう!」を一生懸命したことで「好きだからもっとしたい!」に変わり、好きなことを本気で頑張ったことで今の私があります。皆さんも、一生懸命になれる好きなことに出会えるといいですね。「やってみよう!」と思ったらまずはTRYしてみてください。自分の歩む道につながるかもしれませんよ。

岡輝中学校 卒業生 小林妙子

## 中原一郎さん(清輝学区連合町内会長)が 平成30年度 秋の叙勲『旭日小綬章』(生活衛生功労)を授与されました

岡山市北区清輝本町で40年以上の長きにわたって理容業を営まれ、現在は岡山県理容生活衛生同業組合の理事長として、さらには全国組合連合会の常務理事としてご活躍されておられます。また、学区連合町内会長・岡山中央防犯連合会会長などをはじめとして、自治会や警察関係の数多くの役職を務められています。

この度の叙勲はそういったご活躍に対するの褒章ですが、中原さんが社会貢献活動を始められたきっかけは…ご子息が通われた幼小中でのPTA活動が原点にある…と話されます。清輝幼稚園・清輝小学校・岡輝中学校のPTA会長として、家庭と学校と地域を結び付けることの必要性を常に考えて行動されました。その活動の延長線上に結果として、『岡輝中学校区地域学校運営協議会』『岡輝中学校シニアスクール』の設立運営という形で実を結びました。

中原さんにいくつか質問しました。

Q 地域の教育現場を間近に見て何を思われますか?

A 他学区からは、私たちの学区が「特異なイメージ」を持たれているのでそれを払拭したいです。そのために草の根的な活動を誠実に成してゆかねばと考えます。具体的な活動と言えば…たえず学区の子どもたちに声をかけ続ける!…を実践することです。その道はなかなか実を結びませんが、「ホップ:挨拶することが第一歩」「ステップ:子どもたちの話を真剣に聞き、コミュニケーションの接点を増やして安全安心な場づくりに努める」「ジャンプ:今道半歩ですが、地域と学校を連携するサポート隊を構築する」という未来予想をしています。

Q 子どもたちが身につけてほしいことと、保護者の方々に伝えたいことがありますか?

A 子どもたちには義務教育年限の間に、基本的な生活習慣と挨拶と日々の振る舞いを身につけてもらいたいです。保護者(=修学年齢の子どもたち持つであろう年齢層のすべての大人)の方々には、本来家庭で身につけさせるべき「道徳観」を子どもたちが身につけられるように導いていただきたいです。加えて、保護者同士のネットワークとコミュニケーションを密にしてもらえば、子どもたちが暗中を彷徨うことも減少すると思います。



Q 長年務められたPTA活動のご経験で今思い出されることは?

A その当時、中学校が騒がしい時期がありました。PTAという個別の組織主体ではなく、子どもたちの保護者からという立場で「保護者自由参観IN岡輝中」を企画運営しました。これは今もこの中学校区に引き継がれている…「保護者はいつ学校へ行って授業参観をしてもよい」という基本方針にも合致して実践されていることです。始めたころは生徒たちはたいへん緊張しながら授業を受けていましたが、しばらくすると彼らの日常学校生活が律され変化してゆくの手に取るようにわかりました。あれから四半世紀経った今も岡輝中学校区の「学校がオープンであるという基本精神」は変わることなく続いています。

学校任せにするのではなく、保護者も一緒になって子供たちの成長を支えているという具体例が、今も続いていることが嬉しい思い出です。

中原さんはとてもお忙しい方です。様々な役職を掛け持ちされているにもかかわらず、少しの時間があれば小学校で向かい子どもたちに優しい笑顔で話をされたり、登下校の子どもたち一人一人の名前を呼びながら話をされておられます。夜や休日でも地域の安全防犯活動で巡回見回りなど八面六臂の活躍に驚くことばかりです。あまり無理をなされず、地域の安全安心と青少年の健全育成にお力をいただければと願っています。

この度の叙勲、誠におめでとうございます。

取材・撮影:ちくたく編集員 三村康彦

## ふれあい講座を開催しました! 岡輝中

10月1日(月)・5日(金)・10日(水)の3日間で、平成30年度「ふれあい講座」を開催しました。地域の方や保護者の方を講師にお招きして、1年生とシニア生徒がお菓子作りや水墨画をはじめ、11講座に分かれて貴重な体験をさせていただきました。すべての講座で、普段の授業では学ぶことができない知識を身につけられたり、未経験の体験をさせていただくことができ、生徒のみんなは楽しく学ぶことができました。講師の先生方、サポートして下さった保護者の皆様、ありがとうございました。



## 全国デビューした岡南小

## 岡南小学校

～2019全国小学校管楽器合奏フェスティバル～



2月17日(日)神戸市の神戸文化ホールで開催された全国小学校管楽器合奏フェスティバルへ岡南小学校の吹奏楽部が岡山県の代表として出場しました。大会までには、岡山県の管楽器教育

連盟のご協力で専門的な指導を何度かいただき、音に深みとまとまりが出てきました。現在の部員は、西日本大会を経験したこともなく、大会へ出場する不安と期待が子どもたちの心の中に入り交じっていました。

当日は、朝6時に学校へ集合し音出しを行い、7時には神戸へ向けてバスが出発しました。岡南小学校の出番は午後の最後から3番目。午前中は、全国から集まった各県の代表校の演奏を熱心に聴き、自分たちのステージをイメージしていました。午後には、たくさんの保護者の方も駆けつけ子どもたちの出番を見守りました。本番前のステージに向かう子どもたちの中には、緊張した面持ちがありましたが、ステージ上では堂々とした演奏を披露しました。曲目は、ウインターコンサートと同じ「バンドのための民話」と「夏色」。前半は、深みのあるまとまった音で観客を魅了しました。後半は、元気な2年生がステージ上ではじけるダンス姿に会場からは自然と手拍子が起こりました。演奏を終え緊張から解放された子どもたちには、達成感と満面の笑顔がありました。

来年度の吹奏楽部創部50周年へ向け、子どもたちにとって大きな自信と誇りとなった西日本大会でした。



## ドッジボールで広がった輪

## 岡南認定こども園

2月14日、こども園に清輝保育園、からたち保育園の年長児を迎えての、毎年恒例三園合同ドッジボール大会。今までは園ごとにチームを作ったの対抗戦でしたが、今年は、園の枠をはずして混合で6チームに分かれて、1ゲーム8分の白熱した戦いが繰り広げられました。アウトをとると、「やったー!」とガッツポーズで喜んだり、飛んでくるボールを上手にかわしたり等、寒さも吹き飛ばすくらい、子どもたちは元気一杯! 応援する声もとても大きく、みんなの気持ちが一つになっていました。友達の輪も広がり、春になったら、小学校で会えるかなという楽しみも1つ増えました。



## 枝川緑道公園内花壇の植栽に参加しました!

## 岡輝中学校

12月13日(金)、生徒会執行部と各委員長が地域の方々と一緒に枝川緑道公園内花壇の植栽活動に参加させていただきました。公園に到着すると、冬空の中寒々とした雰囲気の花壇が目の前に広がっていましたが、植栽後はパンジーやビオラの花苗でいっぱいになり、きれいな花壇になりました。来年の春には、これらの花苗が色とりどりの花をいっぱい咲かせ、公園に来られた人たちを和やかな雰囲気に入れてくれることでしょう。

今回植えた苗は、パンジーとビオラでした。この花苗は、社会福祉法人「ももぞの学園(粟井)」の施設利用者の方が種から丹精こめて育てられたものだそうです。

この植栽活動は、地域のみなさんに緑化への関心を高めてもらい、その効果を他の地域にも波及させていくことを目的にされているそうです。生徒会執行部・各委員長のみなさん、生徒会担当の先生方、寒い中、おつかれさまでした。



## 県下都市優良職員表彰を小野先生が受賞

## 清輝小学校

平成31年1月11日に、小野啓樹先生が県下都市優良職員表彰を受賞しました。

小野先生は清輝小学校の教務主任として、教育活動全体の計画、運営の中心になることはもちろん、岡山市の教科研究(社会科)のリーダーとして、市内各校の授業研究において指導的役割を果たしています。「子どもたちが楽しく学べるように」「子どもたちが学力を伸ばすことができるように」という思いで、日々授業づくりを工夫しており、清輝小学校の子どもたちも小野先生の授業を楽しみにしています。

小野先生、本当におめでとうございます。これからも清輝小学校はもとより、県下、市内の教職員の模範として益々のご活躍を期待しています。



## かわいいエプロンが届きました 清輝保育園



子ども達が待ちに待ったエプロンが届きました。

岡山南高校の生徒さんが、子ども達の提案したデザインで、給食用のエプロンを作ってくださいました。

生徒さんが一つ一つを紹介してくるたびに、「わあ~かわいい!!!」「早く着たい」と大喜びでした。「早くお当番がこないかな?」と心待ちにしているふじ組さんです。



# キラリ輝く！ がんばっているひとたち

## 姉妹で入賞しました!!

岡山市「明るい家庭づくり」  
作文・ポスター・絵コンクール

おかやま桃太郎まつり

- ポスター・絵の部：最優秀賞
- 絵画コンテスト：銅賞
- 作文の部：優秀賞



清輝小学校 3年  
大源優菜さん



清輝保育園  
5歳児クラス  
大源愛菜さん



## 平成30年度 岡山市中体連優秀選手賞授与!



前田結依さん

岡山市中体連の優秀選手として表彰された前田結依さんは、柔道部のキャプテンとしてチームを牽引し、県大会でも活躍しました。

2学期も部活動・校外活動・コンクール・展覧会・スポーツなど様々な場面で多くの人が活躍できました。その中で、終業式に表彰された生徒のみなさんと県秋季大会に出場した人を紹介します。

◇第42回岡山市中学校即席教書会

垣内陽向(3B)：銅賞 青井健太(1A)：銅賞

◇第64回岡山県児童生徒書道展覧会

中村凜保(2A)：入選 井上琴愛(2C)：入選

◇第8回岡山県児童生徒絵画展

小松原和弘(1A)：準特選 宇垣咲良(1A)：準特選

◇第64回読書感想文コンクール

末瀧こはる(2B)：銅賞 作長勇武(1A)：銅賞

山下真愛(1B)：銅賞

◇第65回岡山市中学校作文コンクール

森田優也(3A)：努力賞 景山咲夢(2C)：努力賞

小谷若雪(1A)：努力賞

◇平成30年度備前西地区中学校秋季体育大会 剣道競技の部 女子団体3位

金山千夏(2C)、坂邊亜依(2B)、松本悠杏(2B)、小西菜穂(1A)

→平成30年度岡山県中学校秋季剣道大会 出場

◇平成30年度岡山県中学校秋季柔道大会(50kg級) 出場

尾崎 蓮(1B) 大森勇希(1A)

◇平成30年度岡山県中学校秋季水泳大会 出場

吉富なつみ(2C)

◇岡山市「愛の泉善行賞」 文化活動部

◇平成30年度 岡山市教職員バレーボール大会 第3位



## 岡南小 笑顔いっぱいビオトープ教室



12月1日(土)毎年恒例の岡南小学校第2回ビオトープ教室が開かれました。開会行事の後、ビオトープを育む会のみなさんのお力で、最初にビオトープで作った米を昔ながらの機械を使って脱穀しました。見慣れない木造の機械に子どもたちは、驚き珍しい機械が動く姿に見入っていました。順番に作業も経験させてもらい、稲を育てた後にすぐに食べられる米になるわけではないことが、わかったようでした。その後は、みんなでビオトープの整備を行いました。

その間に岡南学区の栄養改善委員の方が餅米を昔ながらの方法で蒸してくださり、餅つきが行われました。参加してくださったお父さん方や育む会のみなさんのおかげで、おいしいお餅がどんどんつきあがりました。つきあがったお餅は、すぐに食べやすいサイズに切り取られ、あんこ、きなこ、砂糖醤油、大根おろしなど好みの味で食べられます。

子どもも大人も次々に思い思いの餅を選び、おいしそうにほおぼっていました。12月とは思えない陽気に包まれ、岡南小学校の校庭にたくさんの方の笑顔があふれる一時でした。

この行事は、2004年にビオトープが完成してからずっとつながっている行事です。ぜひ、地域のみなさんもビオトープ教室に参加し、この素晴らしい行事を次の世代へと引き継いでいただきたいと思います。ビオトープによって集まってくださる地域の方々の輪を大切に、地域に愛され地域のみなさんの手によって作られる岡南小学校ビオトープを守っていきたいと思います。

岡南小学校 校長 森 淳

## 職場体験を実施しました ..... 富田保

11月7日(水)~9日(金)に岡輝中学校2年生の生徒さんが3名、富田保育園に職場体験に来てくれました。

年少(3歳児クラス)~年長(5歳児クラス)の子どもたちと一緒に過ごしました。“お兄ちゃん、お姉ちゃん一緒に遊ぼう”“こっちに来て〜”と子どもたちに声をかけられると学生さんも自然と笑顔になり、楽しそうに遊んでいました。

特に今年の岡輝中学校の2年生は“笑顔で明るく元気いっぱい”で子どもたちも楽しく過ごしました。

4年前に職場体験に来てくれた生徒さんが、この職場体験を通じて自分も子どもたちに関わる仕事をしたい!と、保育・教育の学校に進学されと地域の方からお伺いし、とても嬉しく感じました。

岡輝中学校の職場体験は地域の様々な職場に自分たちで希望し3日間を過ごします。この様な取り組みを通じて、自分たちが将来なりたい職業を見つけるきっかけになれば、とてもいい経験になると感じました。

富田保育園 園長 本屋亮一

## 岡輝中に春を呼ぶ!! 藤井先生「枝宝木」獲得! ~西大寺会陽(はだか祭り)に参加しました~



2月16日(土)毎年、西大寺で開催される日本三大奇祭の一つの西大寺会陽(さいだいじえよう)に、岡輝中学校の先生方が参加されました。

はだか祭りに参加する人の目的は安産・豊作・無病・厄除けなどと様々



ですが、岡輝中の先生方が参加した目的は「3年生が自分の進路を見つけ、自分らしく生きていけるように、1、2年生が生き生きとした学校生活を送れるように」との願いをこめてだそうです。

参加された中で、2年主任の藤井英雄先生(写真一番左)がなんと!枝宝木を獲得!

会陽「春(陽)に会う(春を迎える)」という意の文字通り、岡輝中にも明るい春が舞い込んで来そうですね。

岡輝中PTA広報 山本美紀



を上げた優秀教員に贈られるものです。

安楽先生は、岡輝中学校の人権教育の中心として、校内の取組は勿論のこと、地域の催し会や研究会等にも積極的に参加されました。そして、人と人のつながりを大切にしながら、様々な場面で顕著な成果を上げられました。

## 平成30年度 ▶ 岡輝中 文部科学大臣優秀教職員表彰授与！



平成31年1月15日(火)、本校の安楽栄太郎先生が東京大学安田講堂にて、平成30年度文部科学大臣優秀教職員表彰を授与されました。この表彰は全国の国公私立学校の現職の教職員を対象に、優れた教育成果

# ハートふれんず



## 命のフェスタをしました!! 清輝保

今回はリトミックの先生方に来ていただき、命のフェスタを行いました。エレクトーンの演奏に合わせて子どもたちがよく知っている「トトロ」「アンパンマン」などの歌を歌ったり、「ぼんだうさぎこあら」などの手遊びをしたりしました。0～2歳児は音楽に合わせて体を揺らしたり、先生のまねをしたり、パペットの登場に喜んで楽しんでました。3～5歳児は、オーガジーの布を使って音楽に合わせて体を動かしたり、曲に合わせて指鈴を鳴らしたりして、楽しみました。いつもと違う手作りの鈴の初めての感覚に大喜びの子ども達。みんなで楽しい時間を共有することができました。会の中で子どもたちに、「生きていると楽しいことがたくさんあるね」と話し、保護者の方からの心温まるハートのメッセージを紹介したりしました。最後には、クラスごとに命についての絵本を見ました。5歳児の子ども達は、「ずっとずっとだいすきだよ」の絵本を見て、「大きくなったら犬を飼いたい。でも、火とか危ない事には気を付けてあげないと。」「大事にしていた猫のことを思い出したよ。大好きって1回しか言えなかったな。」「悲しい気持ちになったな。」などの感想があり、命の尊さを実感し、心の交流もできたのではないかと思います。

今回のフェスタを通じて命の大切さについて考えることができ、心の成長にもつながった良い機会になりました。

## 第19回みどりの林檎 『命を守る』をテーマに開催！…………… 岡輝中

10月27日(土)、『第19回みどりの林檎(命のフェスタ)』及び『PTA人権教育推進懇談会』を開催しました。これまでは、「交通」、「いじめ」、「防災」など1つのテーマで開催してきました。しかし、今年度は7月に悲しい事故、そして西日本豪雨による被害など、様々な場面で命の尊さを実感させられた出来事があったため、「命を守る」をテーマにSNS・交通・防災の3分野で開催しました。オープニングは、生徒会新旧三役と有志による劇でした。劇の内容は、『みどりの林檎』が生まれた成り立ちとその名前の由来でした。

2000年(H12)5月の高校生(17歳)による高速バスジャック事件、6月の高校生(17歳)によるバット殴打事件など、若者による悲惨な事件が立て続けに起こりました。そこで、命を大切にすることをテーマにした生徒主体の取組が必要と考えた教員は、生徒会と相談してこの『みどりの林檎』を創造しました。また、名前の由来(生徒が考えた)は、「みどり」は安全や未成熟(中学生)を「林檎」はハートを表し、平和と命の尊厳の大切さを表現したものです。

### 1年生 SNSについての学習内容の展示

「ネット依存」「サイトの怖さ」「SNS・LINEで気をつけること」「個人情報がない」等をテーマにして、グループ毎にまとめて展示発表しました。

### 2年生 交通安全に関する体感活動

「急には止まらない体験」「でこぼこ道体験」「交通安全〇×クイズ」等、多くの体験を通して自転車に乗るときの注意事項について考えることができました。また、マイクロメイト様のご協力により、大がかりな機材を導入して「危険予測のシミュレーション体験」「自動車エアバッグ体験」「シートベルトの必要を実感できる体験」等の貴重な体験もさせていただくことができました。

### 3年生 防災に関する体験活動

防災に関する〇×クイズや緊急時に紙で作れる防災グッズづくりにチャレンジしました。防災グッズは4種類の皿(入れ物)とスリッパづくりでした。最初はなかなか作れませんが、お互いアドバイスし合って、最後には上手な作品ができあがりました。



# 『第13回つなぐれ岡輝!2019 3月2日(土) 10:00~12:00 音楽と踊りのフェスティバル ~心を結ぶ、幸福のハーモニー~』

今年も「つなぐれ岡輝」の季節がやってきました。第13回目となる今年は例年になく暖かい日中となりましたので、岡山南高校の体育館は優しい日差しが射しこまれていました。前日は南高校の卒業式。延原校長先生の粋な計らいで、ステージには大きな花束で演者を迎えてくださいました。

岡輝シニアスクール 歌唱・学区こども園、保育園 歌唱・踊り・南校生保育発表・岡南学区婦人会 踊り・清輝小3年 太鼓演奏。そして例年観客の期待を集める、吹奏楽の演奏と協演です。

会場には観客の皆さんの大きな拍手と演者の皆さんの笑顔が溢れていました。また来年も一堂に会しましょう!!



- ①シニアスクール岡輝校
- ②学区こども園・保育園
- ③岡山南高校 生活創造科
- ④岡南学区 婦人会
- ⑤清輝小 3年生
- ⑥岡南小・岡輝中・岡山南高 吹奏楽部

- 歌「岡山シニアスクール愛唱歌」「歌でめぐる世界」
- 歌「世界中のこどもたちが」・踊り「みんなでオーイェイ!」
- 保育発表「みんなであうたっておどろろ!」
- 踊り「川口小唄」「まんまるワルツ」
- 和太鼓「清輝だいて 2019」
- 吹奏楽の協演



岡輝中学生会 応援エール



シニアスクール岡輝校 踊り



同会を頑張りました



学校運営協議会 高柳会長



岡山南高校 延原校長



学区こども園・保育園 歌



岡山南高校 生活創造科 保育発表



岡南学区婦人会 踊り



清輝小3年生 和太鼓



岡輝中吹奏楽部



岡南小吹奏楽部



岡山南高吹奏楽部



3校吹奏楽の協演

## 第13回つなぐれ岡輝!音楽と踊りのフェスティバルに参加しました ..... 富田保育園 園長 本屋亮一

岡南認定こども園・清輝保育園・からたち保育園・富田保育園・聖園幼稚園の5園で“世界中のこどもたち” “みんなでオーイェイ!”の歌と踊りを披露しました。

初めての体育館という大きな場所で、たくさんの地域の方や保護者の方の前で、最初は恥ずかしそうな子どもたちでしたが、春から同じ小学校に通うお友達と一緒にだった

ので、すぐに元気いっぱい笑顔に変わりました。

春には小学校に行く子どもたち。職員も無事に小学校に行けるか不安な気持ちがありますが、岡輝中学校区は地域の方々子どもたちに優しく見守ってくださり、ありがたく思っています。

これからも、地域の方々と協力し地域に根差した保育園を目指していきたいと思います。



## ~笑顔あふれるハーモニーづくり~ 『つなぐれ岡輝』吹奏楽合同練習 岡輝中PTA広報 山本美紀

今年も「つなぐれ岡輝」の合同吹奏楽演奏のための3校合同練習が岡山南高校にて行われました。本番まで残すところ1週間となった最終日の2月24日(日)、岡山南高校、岡輝中学校、岡南小学校の3校の吹奏楽部の120名弱の人数が集まり、限られた時間の中でのハーモニーづくりが始まりました。

開会式が行われた後のパート練習の前には、合同練習お約束のコミュニケーションタイム!「なんでもバスケット」(輪になり、お題を出し、内容に当てはまる人が動く椅子取りゲーム)や絵しりとりをするパートもあり、小学生から高校生が無邪気にはしゃぎます♪その後、パート練習がスタート。南高のお兄さん、お姉さん達に優しく丁寧に教わる小、中学生の姿は毎回見ているこちらが癒されます。

今年の「つなぐれ岡輝」で合同演奏する曲は4曲。1曲目は明るく元気が出る「カービィ☆マーチ」、指揮担当は岡南小の黒澤英孝先生。2曲目のNHK「おかあさんといっしょ」の人気曲、ポップでノリの良い「おまめ戦隊ピンピ〜ン」、は岡輝中の寺尾孝太先生、3曲目の「となりのトトロ」でおなじみの「さんぽ」、4曲目の「つなぐれ岡輝」のフィナーレを飾る「ふるさと」は南高校の江田晃記(こうき)先生。今回は岡輝中の松本さくら先生もフルートで演奏に参加します!

当日の合同演奏は南高校OBの方々も加わり、総勢170名を超えるスペシャルな演奏になりそうです。それぞれの各校の先生方の個性あふれる演出と、3校の子どもたちが奏でる「つなぐれ岡輝」ならではの温かいハーモニーをお楽しみに!

## ▶ 岡山南高・岡輝中・岡南小



# 今、行政が注目！ 社会が注目！

## シニアスクールはこんな所だよ！

◆シニアスクールで介護予防——心身ともに健康で美しく生きよう

- 学校の空き教室を借り、学校と同じように時間割にそって9教科の勉強をします。
- 元小中高大学等の先生が、テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業をします。
- 子どもと同じ給食を食べます。
- 4月に始まり、子どもたちと同じように入学式、夏休み、運動会、学習発表会、遠足、修了式などもあります。
- 三世帯同居の雰囲気の中で学校生活を送っています。
- 友だちをつくりたい、規則正しい生活をしたい、学びたいなどの思いを充足することで、認知症の予防には最適な場所になっています。



大森市長訪問



授業（美術）



3教室交流



事務局



文化発表会



遠足（栗林公園）

## 岡輝学区の自慢 シニアスクール

平成15年9月、新しい学校の在り様を求め全国初のシニアスクールを岡輝中学校で試行開校しました。以来17年を迎え、多くの人に支えていただきながら、3校で50名以上のシニアの方々が学びあっています。「生きることは学ぶことである」という生き方、そして各校においては児童生徒との繋がりを通して、穏やかな学習環境を作っています。3教室ともそれぞれ特色がありますので、お問い合わせの上、ご入学ください。

### シニアスクール開校場所

- 岡輝教室 … 岡山市北区岡町12-17 岡山市立岡輝中学校内
- 清輝教室 … 岡山市北区新道1 岡山市立清輝小学校内
- 岡南教室 … 岡山市北区岡南町2-4-5 岡山市立岡南小学校内

### 授業について

- 岡輝教室 … 週3日【月・水・金】
- 清輝教室 … 週2日【火・金】
- 岡南教室 … 週1日【金】
- 授業時間 … 原則として1日5時限【午前中4時限（2・3教科） 午後1時限】
- 履修科目 … 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・家庭科・保健体育・英語
- 子どもと同じ給食あり（実費）
- 子どもたちとの交流を目的としたもの … 交流会・文化祭・運動会・総合学習
- 3教室の交流を目的とした遠足等の実施

### 講師について

- 各教科4～5名 現在40名の優秀な講師陣

### 必要経費（給食費・遠足費別）

- 授業料 … 岡輝教室（月4,500円 11ヶ月分割払い）  
清輝教室（月3,500円 11ヶ月分割払い）  
岡南教室（月2,500円 11ヶ月分割払い）



### シニアとは…

シニアスクールにおける“シニア”とは、年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲を持っている方を募集しています。

お申し込み用紙は、お近くの公民館にあります。

2019年度 31年生徒募集中!!

いつでも入学できます

特定非営利活動(NPO)法人 子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール

〒700-0867 岡山市北区岡町12-17 [岡山市立岡輝中学校内]

TEL.086-232-0056 (事務局) FAX.086-224-0359 (岡輝中)

「ちくたく」 Vol.30 2019年3月11日発行 (Vol.30) ●発行/岡輝中学校区学校運営協議会 ●編集/岡輝学区地域情報誌「ちくたく」編集委員会 ●事務局/岡山市北区岡町12-17 岡山市立岡輝中学校内 ●TEL.(086)224-0358(代) FAX.(086)224-0359 E-mail:kakico@city-okayama.ed.jp